

都市再生整備計画 事後評価シート
筑紫地区

平成29年 3月

福岡県筑紫野市

様式 2 - 1 評価結果のまとめ


都道府県名	福岡県		市町村名	筑紫野市		地区名	筑紫地区			面積	840ha		
交付期間	H 2 4 ~ 2 8		事後評価実施時期	平成 2 8 年度		交付対象事業費	1,035.8百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	・道路事業（区画道路法面） ・公園事業（筑紫ふれあい公園、筑紫駅西口3号公園） ・高次都市施設（地域交流センター（筑紫コミュニティセンター））										
		提案事業	・地域創造支援事業（防災関連施設整備事業、土地区画整理事業） ・事業活用調査（事業効果分析調査） ・まちづくり活動推進事業（コミュニティづくり事業（筑紫地域）、コミュニティ運営協議会補助金（筑紫地域））										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-	-			-			-			
		提案事業	-	-			-			-			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業（市道勢井手・外木町線整備事業）	-			居住環境の向上に寄与するものと認められたため、追加			影響なし			
提案事業		地域創造支援事業（旧西鉄筑紫駅舎保存整備事業）	-			地域住民の意向を踏まえた、地域の歴史・文化と調和したまちづくりの推進に効果的であると認められたため、追加			影響なし				
交付期間の変更	当初	平成 2 4 ~ 2 8 年度	-			-			-				
	変更	変更なし	-			-			-				
2) 都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標 1	地域交流センターの利用者数	人/年	23,201	H 2 3	36,600	H 2 8		38,142	○	あり	コミュニティ運営協議会（筑紫よかまち協議会）の活動の本格化や周辺人口の増加等の要因により目標に達することができた。なお、平成28年度の最終的な実績を把握するため、フォローアップは実施する予定。	平成29年5月
	指標 2	居住環境に関する満足度	%	85.0	H 2 3	87.0	H 2 8		83.38	×	あり	区画整理事業区域内で文化財が発見されたことにより、区画整理事業や道路事業の工期が長期化したことから、満足度が低下したと思われる。早急な事業の完了が望まれるが、現時点では完了予定時期が不明瞭であるため、1年以内の達成見込みをなしとしている。	平成29年11月
指標 3	安全・安心に関する満足度	%	38.0	H 2 3	42.0	H 2 8		63.38	○	あり	避難所としても機能する地域交流センターや防火水槽等を整備したことにより、満足度が向上したと思われる。		
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の数値指標 1												
	その他の数値指標 2												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	筑紫コミュニティセンターの整備にあたり、地元住民による建設検討委員会を組織したこと等、各事業を実施するに際しては、可能な限り、住民参加プロセスを設けるように心がけた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後、まちづくり関連事業を推進する際は、コミュニティづくり事業を契機として発足した「コミュニティ運営協議会（筑紫よかまち協議会）」と十分な協議を行うことにより、住民参加を促進する。					
持続的なまちづくり体制の構築	コミュニティづくり事業等が効果を発現し、地域住民が主体となったまちづくりのための活動組織である「コミュニティ運営協議会」を発足することができた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域コミュニティによるまちづくりを促進するため、「コミュニティ運営協議会（筑紫よかまち協議会）」の活動を積極的に支援していく。						

様式2-2 地区の概要


筑紫地区（福岡県筑紫野市）都市再生整備計画事業の成果概要

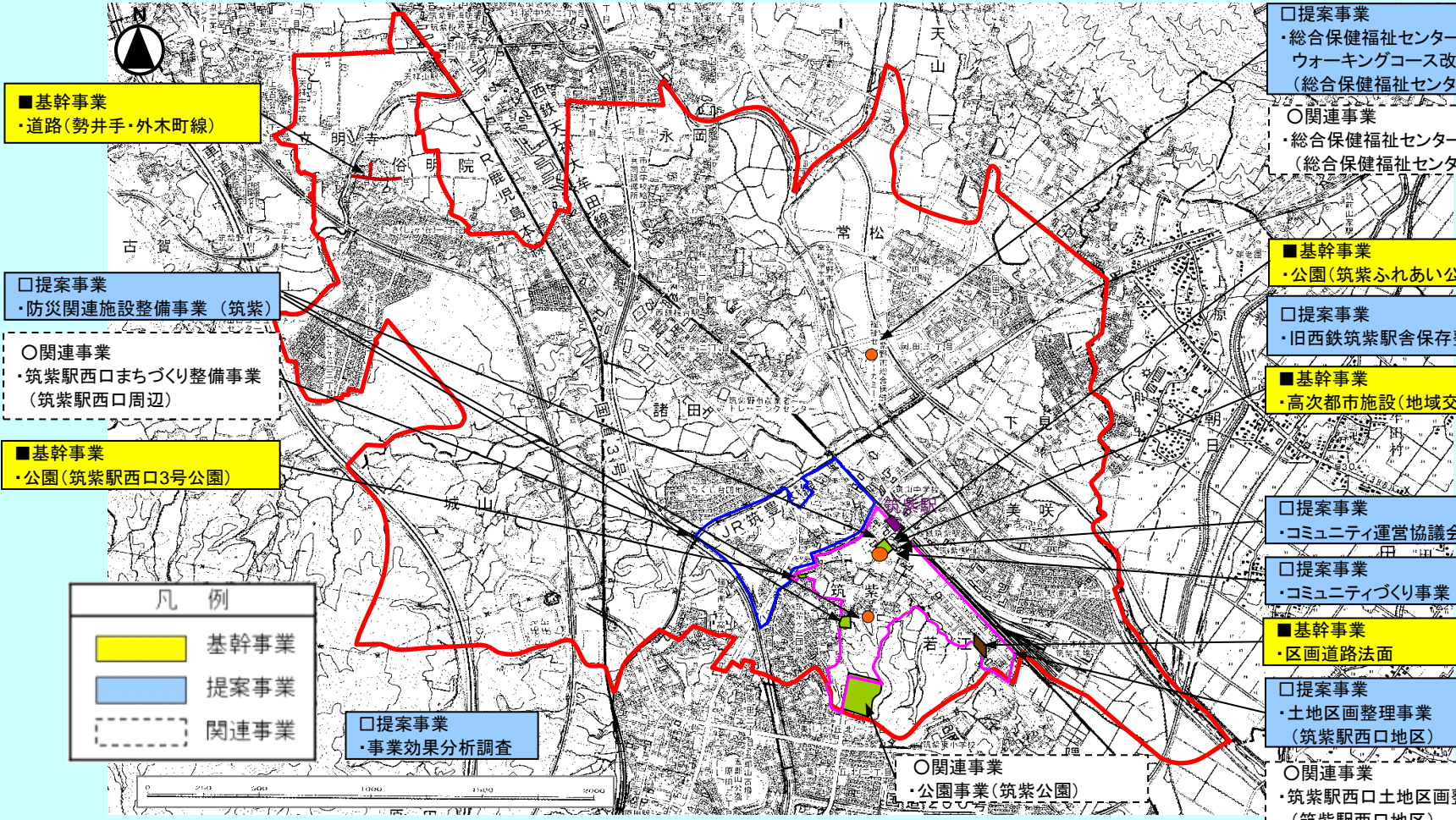
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	評価
大目標 … 新たな地域拠点としての安全で住みよい交流空間づくり	地域交流センターの利用者数	単位：人／年	23,201	H 2 3	36,600	H 2 8	38,142	H 2 8
目標1 … 地域の文化や自然と調和した交流空間の形成	居住環境に関する満足度	単位：%	85.0	H 2 3	87.0	H 2 8	83.38	H 2 8
目標2 … 生活の基盤整備の促進による居住環境の向上	安全・安心に関する満足度	単位：%	38.0	H 2 3	42.0	H 2 8	63.38	H 2 8
目標3 … 防災性を高めた安全で安心できる空間の形成								

■地域交流センター(筑紫コミュニティセンター)




□旧西鉄筑紫駅舎保存整備事業






■公園(筑紫ふれあい公園)



■公園(筑紫駅西口3号公園)



まちの課題の変化

- ・本地区では、筑紫駅前の区画整理地内において、7世紀ものと思われる文化財(前畑遺跡【土塁】)が出土したことから、各事業の進捗に大幅な遅れが生じている。
- ・そのため、居住環境における満足度は目標値に届かなかったものの、比較的高水準であり、安全・安心に関する満足度も目標値に達したことから、住みよいまちに近づいていることが伺える。
- ・今後は出土した文化財とまちづくりをどのように共存させていくかが課題である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・引き続き、区画整理事業等の住みよいまちの実現に向けた施策を進める。
- ・文化財担当課とも協議し、文化財保護のあり方と、まちづくりのあり方の両面から、今後のまちづくりの方針を検討する。